

キャンパス散策（沖縄大学）

はじめに



激動の戦後・沖縄県において県内初の私立大学として、県都である那覇市に誕生した沖縄大学。本学は今年開学53年目を迎えます。

創立50周年事業として、新本館が建築される運びとなり、昨年無事に完成しました。



2010年に完成した新本館

新キャンパスは、「地域に根ざし、地域に学び、地域と共に生きる開かれた大学」という大学の理念通り、アプローチから緑があふれ塀や壁がない、地域社会に開かれた大学となりました。学生ひとりひとりが最高学府である大学というステージで、沖縄はもちろん、世界中から集う方々と交流し輪が広がっていくように、また、豊かな未来を共創する学生たちと心ひとつに新たな歴史を重ねていきたいと考えます。

キャンパスについて

学生の活動の拠点、学びの拠点となるキャンパスは県都那覇に立地し、沖縄の文化、自然を感じやすい位置にあります。（観光客に人気の国際通りまでは車で10分、首里城までも車で15分）

大学の学食はありませんが、学生が気軽に寄れる購買書籍店がキャンパス中央に去年新しくオープンし、学生アメニティーの中心的役割を担っています。店舗は沖縄らしさを意識して、壁面に首里城と同じ朱色を用い、柱には沖縄の海を意識した貝殻をデザインするなど日本最南端に位置する大学としての特徴を全面に打ち出しています。学生からも「明るくなったし、おしゃれ」と好評です。また、店舗前にフリースペースができ学生が団欒している姿が見ることができるよう、その横にはリラクゼーションスペースも学生により運営されています。また、学食がないことであらたな取り組みを学生主導で進めています。お昼時間にコンビニなどで買ったお弁当を食べる



お弁当の日

のではなく毎週火曜日に「お弁当の日」を設けて、1人1品の手作りおかずを持参して食べ合う活動を行っています。食生活の乱れを改善できたり、手作りによりランチの会話が弾むという効果も期待できると輪が広がっています。

2010年11月に高齢者や障がい者らの社会参加の促進に

取り組む団体に贈られる「2010年度県福祉のまちづくり推進功労者表彰」で県知事賞を受賞しました。大学近くの自治会の推薦による受賞で、大学が地域に評価された結果であると嬉しい賞となりました。障がい者や学生の意見を取り入れた施設の整備や学生のノートテイク（要約筆記）活動など全学的な取り組みはもちろん、福祉文化学科の学生が地域のお年寄り向けのミニデイサービスを学内で行ったり、教職課程を履修中の学生を中心に地元の小中学校に学習ボランティアとして出向いています。

学生主役の大学

大学づくりには主役である学生の参加が必要であるという考え方をもとに、学生参加を積極的に推進してきました。2005年の大学創立記念日からは「沖縄大学は私が変わる！」と銘打った学生・教職員大討論会を催し、学生中心の創立記念日のイベントとして定着してきています。毎年学生から沖大改革について多くの意見・提言が出されこれまで「沖縄大学50周年記念賞」「再考食育プロジェクト」「壕ガイド養成プロジェクト」など学生が主導して、学生の提案をまとめ、採択したものに大学が財政支援をしていく、共創力育成の場として学生と共に大学づくりを進めています。

就職サポート

本学はキャリア形成に力を入れています。その一環として就職支援課にはコーチング研修を受けた専属のキャリアコーチを配置し、学生のサポートをしています。単に公務員試験への合格や企業への内定

を目標とするのではなく、自分の人生をより良く生きていくためにはどのような事を考えどのような選択をして行けば良いのかといったキャリアデザインをひとりひとりと時間をかけた面談を通し、学生自身が発見していけるようにしています。この事は昨今社会問題となっている若者の早期離職やミスマッチの歯止めに繋がると言われています。例えば世間で評判の企業に就職する事だけが良い人生だとは限らないという事を学生にもしっかりと認識してもらい、卒業後、満足度の高い人生設計を実現出来るよう全力でバックアップします。



開学記念イベント「沖縄大学は私が変わる」



大学祭フィナーレ



大学祭フィナーレのエイサー演舞

教育力

2002年から全学的に実施している「学生による授業評価アンケート」、県内大学ではいち早く取り組みを開始し、入学した学生に学び続けたいと思わせる充実した内容の教育の提供に力をいれています。実施後、年々授業評価は向上し、2009年度後期には学生による総合的満足度は5段階評価で平均4.4という極めて高い評価を得ることができました。

さらに、授業は教員と学生が共創するものであるとの認識から、2010年度からは、アンケート名を「授業改善アンケート」と改名し、授業開始5週目に記述式の「中間アンケート」も実施しています。これにより、授業に関する学生と教員との認識、要求のギャップを出来るだけ早期に改善できています。授業評価が高い教員の授業については、年に二回の授業公開期間中に教職員が見学し、その高い授業評価の要因を参観者で討議し、各教員の授業改善に役立てます。その授業公開期間中には、学生の父母や地域の方々へも授業を公開し、ご意見を頂いています。

地域貢献

本学の地域研究所は、地域に開かれた学際的研究の拠点となることを目的に、1988年に創立されました。21世紀という時代の転換期において、琉球弧とアジア太平洋という地域に山積するいろいろな課題を、学内外の200名余りの研究者及び市民からなる共同研究を組織することによって解明していくことが、本研究所の目的です。また1976年より地域貢献の一環として開講した土曜教養講座は、時宜に適った多彩なテーマを扱った市民向けの講座を開講しています。離島での



正面入り口からのキャンパス

移動市民大学の積極的な開催や、子どもたちの研究に対し助成をする「ジュニア研究支援」や学生を対象に「離島研究・実践促進プロジェクト」を実施するなど地域に開かれた「学び舎」を目指しています。

環境事業教育活動として本学では2002年にISO14001を認証取得し、環境に配慮した取り組みを学内外において実践してきました。足元のキャンパスから始まり、地域の環境イベント支援、自治体の内部監査や地域の小中学校での環境教育支援事業へと広がってきています。



エコツアー

沖縄大学は開学50周年を機に「地域共創・未来共創の大学へ」を新たな建学の理念としてこれからも飛躍し続けていきます。